

対セントルシア無償資金協力「カルデサック流域橋梁架け替え計画」起工式

2021年5月7日

在トリニダード・トバゴ日本国大使館

5月5日、セントルシアのカルデサック流域において、カルデサック流域橋梁架け替え計画の起工式が実施されました。日本政府による15.3億円の無償資金により実施される本計画は、地域及び全国レベルで、同国の重要な輸送インフラを強化することにつながります。

起工式には、セントルシアからは同国首相の代理としてダニエル下院議長、キング・インフラストラクチャー・港湾・エネルギー・労働大臣、ジョセフ・経済開発・住宅・都市再開発・運輸・民間航空大臣、フランシス・カストリーズ市長、ダニエル・インフラストラクチャー・港湾・エネルギー・労働省次官、殿川JICAセントルシア事務所長、松崎同職員ほか関係者が現地での式典に出席し、平山大使はオンラインで参加しました。

挨拶の中で平山大使は、セントビンセントのラ・スフリエール火山噴火に対するカリブ地域との連帯を繰り返し、日本の援助物資輸送に係るセントルシア政府のJICAへの協力に感謝の意を表明しました。また、平山大使は、本計画はセントルシアの自然災害への防災体制及び強靱性を強化することにつながる、両国は共通の価値観に基づき強固な関係を築いており、同国に対して医療機材供与の無償資金協力も決定したと述べました。

ジョセフ大臣は、当国におけるJICAの活動は25周年になる、日本とセントルシアの二国間協力へのJICAの堅実な貢献を称賛する、当地域の議員代表として日本政府及び国民に心から感謝する、本計画が当地域の住民にとって良い影響を及ぼすことを期待すると述べました。

キング大臣は、日本からセントルシアへの多方面の協力を強調し、2010年の熱帯暴風雨トマスの通過後に実施された技術協力を引き合いに、何か起きた時はいつも、日本とセントルシアは真の友人であったと述べました。また、同大臣は、日本政府及び国民からの支援に感謝するとともに、本計画はカルデサック地域の変化を導き経済機会を刺激し、洪水被害を軽減することにもつながる、同省は本計画が予定通り遂行するようJICAへの支援を約束すると述べました。

日本政府は、今後ともカリブ各国との友好関係と相互理解を促進し、小島嶼国特有の脆弱性の克服を図るため、防災、環境、エネルギー、廃棄物管理及び水産分野に対する支援を実施していく考えです。

お問い合わせ

在トリニダード・トバゴ日本国大使館 経済・開発協力班

Tel: +(1-868)-628-5991 Ext.222

E-mail: ecocoop@po.mofa.go.jp



平山大使による挨拶



殿川 J I C A セントルシア事務所長による挨拶



ジョセフ大臣、キング大臣による挨拶



(左から右) ダニエル次官、殿川所長、キング大臣、ジョセフ大臣による鍬入れ